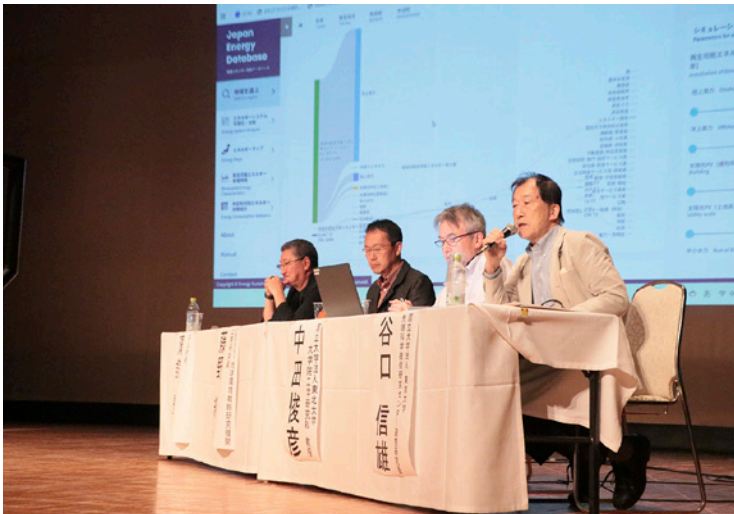


持続可能な地域社会のために



地域経済の活性化と脱炭素化の両立を目指し、町民・事業者・行政が一体となるべく令和7年9月23日(火)、中泊町脱炭素推進フォーラムが開催されました。

濱館町長は、町内の脱炭素の取り組みを紹介し「これまでわずらわしいだけだった町に吹く強い風を使って電気を生み出せる。自然エネルギーを町の強みとして活かすことができる」と説明し、登壇者のひとりで東北大学大学院工学研究科の中田俊彦教授は「データを見ても中泊町は風力発電で多くの電力を生み出せるポテンシャルを秘めている」と語りました。

参加者たちは人口が減っても経済が循環する町の未来を思い描き、真剣な表情で聞き入っていました。

インターンシップを受け入れました。

町職員の仕事を体験しようとインターンシップが行われ、9月は中里中学校、10月は五所川原農林高校の生徒が町役場を訪れ、各課の業務を学びました。

中里中学校の3年生3名は、9月24日に小泊地区の浄水場施設を訪れ、上下水道課同行のもと、各家庭で水が使えるようになるまでの過程を見学しました。また、五所川原農林高校の2年生3名は10月10日環境整備課で実習を行い、実際に本物同様の機器を使った現場の測量や、道路の穴埋め作業を体験するなどして町の仕事についての理解を深めました。

両校の体験日程は次の通りです。

中里中学校	9月24日 上下水道課	9月25日 水産商工観光課
五所川原農林高校	10月8日、9日 農政課	10月10日 環境整備課



満員御礼！ 秋の公開が開幕



宮越家離れ・庭園の秋の公開が令和7年9月26日から11月2日の日程で行われ、初日から多くの来場者が訪れました。

今年の公開の目玉である宮越家のふすま絵「春景花鳥図」と大英博物館が所蔵する「秋冬花鳥図」の高精細複製品(奈良県談山神社所有)の共演がみられる最後のチャンスとあって、予約開始日には完売となる盛況ぶりとなりました。

来場者は「ずっと見たいと思っていたのでうれしい。ふすま絵もきれいだったが、お庭もガイドさんの説明も素晴らしかった」と話していました。

株式会社青森電子計算センターから寄付金を頂戴しました

図書の充実に役立てようと株式会社青森電子計算センターから中泊町図書館へ寄付金をお贈りいただきました。

令和7年9月30日(火)には贈呈式が行われ、同社の八島勝代表取締役から町長に目録が手渡されました。

八島代表取締役は「弊社が設立してから60年の節目を迎えられましたのも、ひとえに地域みなさまのおかげ。少しでも恩返しになれば」と語りました。

今回頂戴した寄付金は、図書館の図書購入費用にあてられます。



自衛官募集相談員を委嘱しました



国防を担う人材確保を目指し、自衛官を志望する人への広報活動を行う自衛官募集相談員に、当町から大川幸勝さん、加賀田茂さんの2名が委嘱され、令和7年10月2日(木)、自衛隊青森地方協力本部長の岡村正彦1等空佐が見守るなか、町長から委嘱状が手渡されました。

濱館町長は「自衛隊は国を守るとても重要な職務。日本を守りたいという気力にあふれた若者をぜひ発掘していただきたい」とあいさつしました。

2人の任期は2年間で自衛隊に関する相談作業を担います。

明治安田生命保険相互会社から寄付金を頂戴しました

町と連携協定を締結している明治安田生命保険相互会社から寄付金をお贈りいただきました。令和7年10月7日(火)には贈呈式が行われ、同社青森支社の日野研太支社長から目録が手渡されました。

日野支社長は「地域住民のみなさまの健康づくりや暮らしの充実に向けた町や地域団体との協働取組みの一助に役立ててください」とあいさつしました。

今回は同社の「私の地元応援募金」活動の一環で、全国の支社・営業所等の従業員が居住地・出身地などゆかりのある地域に募金していただいたものに、同社の拠出を上乘せしてご寄付いただいています。



小泊地域に新しいALTが着任しました



10月から小泊地域のALT(外国語指導助手)に着任したクリストファー ランドルフ マクスウェルさんが令和7年10月7日(火)、役場を訪問し町長に着任のあいさつを行いました。

クリス先生はアメリカ合衆国バージニア州出身で、これまでもボランティアで英語指導を行ってきました。お寿司が好きです。小泊で寿司を食べたというクリス先生に濱館町長は「小泊は海の幸が好きな人にぴったりの場所。母国と勝手は違うと思うがこどもたちの英語学習のために頑張ってください」と激励しました。

中泊ライオンズクラブから寄付金を頂戴しました

図書の充実に役立てようと中泊ライオンズクラブから中泊町図書館へ寄付金をお贈りいただきました。

令和7年10月9日(木)には贈呈式が行われ、同ライオンズクラブの加藤毅会長から教育長に目録が手渡されました。

鈴木教育長は「ご寄付ありがとうございます。町民の学習の機会充実のために大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

今回頂戴した寄付金は、図書館のDVD購入費用にあてられます。



シルバーの日にカーブミラー拭きを実施



青森県シルバー人材センター連合会では、事業の普及啓発月間である10月の第3水曜日を「シルバーの日」と定めており、中泊町シルバー人材センターもシルバーの日にあわせて奉仕活動を行っています。

今年は10月15日(水)、同センターの会員が津軽中里駅前に集まり、旧中央公民館前までのカーブミラー12個所の拭き掃除を行いました。

中里駐在所立会いのもと安全に配慮し、ミラーを1枚1枚丁寧に磨き上げてドライバの安全を願いました。

地域合同セミナー・経営相談会を開催しました

町と町商工会は金融機関と連携し、経営改善や販路拡大、事業承継などに取り組みたいと考えている中泊町の事業者や、これから創業したい個人の方を対象にセミナー・相談会を令和7年10月14日(火)に開催しました。

公益財団法人21あおもり産業総合支援センターや青森県事業承継・引継ぎ支援センターなどの団体から講師をお招きし、青森県内における事業者の現状や課題、事業承継に関する取り組みなどをご紹介いただきました。

参加者からは、「事業承継などの取り組みがあるのを知らなかったもので、知ることができてよかった」といった感想が寄せられました。



深郷田地区でシャインマスカットの収穫体験

10月19日(日)、深郷田地区のハウスでシャインマスカットの収穫体験が開催されました。この事業は、深郷田町内会が、農業用として使用しなくなったハウスを活用し、地域の世代間交流事業及び農業継承事業として、集落支援員の活動の一環で令和4年度から実施しているものです。

令和4年に苗木を植え、町内会役員が交代で水の管理や剪定作業などを実施してきました。昨年から収穫体験会を開催し、今年が2回目です。今年は200を超える房が実ったため、子ども達を対象とした収穫体験を開催することとなりました。

収穫体験には地区内外の小中学生22人ほどが参加し、町内会の方から収穫の仕方を教わりながらハウス内を見て回り、大きくたくさん実がなっているマスカットを見つけると一緒に丁寧に収穫していました。参加した子ども達は、「初めての体験でとても楽しかった」と喜んでいました。

収穫されたシャインマスカットは、同地区集会所において地区住民へ低価格で販売されました。

地区では、今後も交流イベントとして継続していくほか、将来的には事業化を目指していく予定です。

